

(5) 母子世帯の母親にとって望ましい資格や技能は、どのようなものと考えるか

全体	理美容師関連		指圧マッサージ関連		調理師などの食品関連		福祉・介護職関連		パソコン・経理関連		商品知識などを活用した販売関連		語学力を活用した業務関連		重機運転などオペレーター関連		その他		無回答
	252	26	7	24	82	126	76	39	8	3.2	2	0.8	12	4.8	36				
	10.3	2.8	9.5	32.5	50.0	30.2	15.5	3.2	0.8	12	4.8	36	14.3						

(6) 資格や技能を取得するために、何を整備する必要があると考えるか

全体	資格や技能習得のための資金の充実		資格・技能習得期間中の生活費の保障		修得期間中の育児などの支援		その他		無回答
	252	119	130	142	6	38	15.1		
	47.2	51.6	56.3	2.4					

VI 民生委員児童委員の役割などについて

(1) 民生委員児童委員として、支援を必要としている人々の自立支援活動を行うにあたって、最も大切にしていること

全体	支援を必要としている人の気持ちの尊重		支援を必要としている人への心のケア		支援を必要としている人に対する地域住民の理解や協力		その他		無回答
	252	200	124	125	7	5	2.0		
	79.4	49.2	49.6	2.8					

(2) 民生委員児童委員の役割の専門性に対して、将来的な表現も含めてどのような頼われ方を望むか

全体	役割にふさわしい報酬		役割にふさわしい地位や名誉		役割にふさわしい資格		他の専門職からの承認や尊敬		地域住民からの承認や尊敬		その他		無回答
	252	33	9	113	37	148	31	12.3					
	13.1	3.6	44.8	14.7	58.7	14.7	37	14.7	14.7	31	12.3		

民生委員・児童委員の自立支援活動に関するアンケート調査(山麓町)

I

(1)性別

	男	女
全体	43	22
	48.8	51.2

(2)年齢

	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
全体	43	0	7	25	11
	0.0	0.0	16.3	58.1	25.6

(3)経験年数

	1年未満	1～4年未満	4～8年未満	8～12年未満	12年以上
全体	43	1	8	9	13
	2.3	18.6	20.9	30.2	27.9

(4)主任児童委員か

	はい	いいえ
全体	43	41
	4.7	95.3

(5)現在の職業

	自営業	公務員	会社員	主婦	年金生活	その他
全体	43	8	1	3	17	2
	18.6	2.3	7.0	39.5	27.9	4.7

(6)最も長く従事した職業

	自営業	公務員	会社員	主婦	年金生活	その他
全体	43	12	8	2	15	6
	27.9	18.6	4.7	34.9	14.0	0.0

(7)担当地区の特徴

	商業が中心の地域	工業が中心	古くからの持ち家の多い住宅地域	新しい持ち家(マンションなどの)多い住宅地域	民間アパートなどの借家の多い地域	公営住宅の多い地域	その他	無回答
全体	43	3	0	23	5	2	6	1
	7.0	0.0	53.5	11.6	4.7	14.0	23.3	2.3

(8) 担当地域の世帯数

全体	43	28	11	0	0	0	0	0	0	1	2
		65.1	25.6	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	4.7

(9) 地域の生活保護世帯数

全体	43	28	6	0	0	0	0	0	0	1	8
		65.1	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	18.6

(10) 生活保護世帯のうちの母子世帯数

全体	43	26	0	1	0	0	0	0	0	0	16
		60.5	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.2

II

(1) 親から子供のことで相談を受けたことがあるか

全体	43	0	6	36	1
		0.0	14.0	83.7	2.3

(2) それほどのような内容か

全体	43	1	2	0	2	1	0	1	0	1	37
		2.3	4.7	0.0	4.7	2.3	0.0	2.3	0.0	2.3	86.0

(3) 地域住民から子どものことで相談を受けたことがあるか

全体	43	0	11	28	4
		0.0	25.6	65.1	9.3

(4) それほどのような内容か

全体	43	2	4.7	0	0.0	4	9.3	4	0	0.0	4	9.3	4	9.3	1	2.3	32	74.4
		発達遅れな しつけ		子ども交 友関係		子どもの引 きこもり		子どもの非 行		親の放置		子どもの虐 待		無回答				
全体	43	2	4.7	0	0.0	4	9.3	4	0	0.0	4	9.3	4	9.3	1	2.3	32	74.4

(5) 相談を受けた子どものことで民生委員児童委員として対応したことはあるか

全体	43	9	20.9	21	48.8	13	30.2
		ある		ない		無回答	
全体	43	9	20.9	21	48.8	13	30.2

(6) 具体的にどのようなことをしたか

全体	43	2	4.7	2	4.7	5	11.6	2	4.7	33	76.7
		関係機関に 通報・連絡		関係機関と 協議		関係機関と 連携して具 体的な支援		その他		無回答	
全体	43	2	4.7	2	4.7	5	11.6	2	4.7	33	76.7

Ⅲ

(1) 民生委員児童委員の役割が、地域住民に理解されていると思うか

全体	43	1	2.3	29	67.4	12	27.9	0	0.0	1	2.3
		よく理解され ている		だいたい理 解されている		あまり理解さ れていない		その他		無回答	
全体	43	1	2.3	29	67.4	12	27.9	0	0.0	1	2.3

(2) 住民の方々が地域福祉に理解があると思うか

全体	43	1	2.3	24	55.8	16	37.2	0	0.0	2	4.7
		大変理解が おおむねあ る		あまりない		その他		無回答			
全体	43	1	2.3	24	55.8	16	37.2	0	0.0	2	4.7

(3) 地域住民の方々は、社会福祉を利用している人たちに理解があると思うか

全体	43	1	2.3	29	67.4	10	23.3	0	0.0	3	7.0
		大変理解が おおむねあ る		あまりない		その他		無回答			
全体	43	1	2.3	29	67.4	10	23.3	0	0.0	3	7.0

(4) 地域社会が高齢者を「注目している」「監視している」と感じることはあるか

全体	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答
43	8	25	6	0
	18.6	58.1	14.0	0.0
				9.3

(5) 地域住民の多くが高齢者の福祉を、もっと充実させるべきと考えていると思うか

全体	そう思う	そう思わない	一概に言え	無回答
43	12	3	25	3
	27.9	7.0	58.1	7.0

(6) 地域社会が障害を持つ人を「注目している」「監視している」と感じることはあるか

全体	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答
43	9	22	9	3
	20.9	51.2	20.9	7.0

(7) 地域住民の多くが障害を持つ人の福祉を、もっと充実させるべきと考えていると思うか

全体	そう思う	そう思わない	一概に言え	無回答
43	17	3	20	3
	39.5	7.0	46.5	7.0

(8) 地域社会が離婚した女性の方々を「注目している」「監視している」と感じることはあるか

全体	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答
43	24	14	2	3
	55.8	32.6	4.7	7.0

(9) 地域住民の多くが離婚した女性の方々の福祉を、もっと充実させるべきと考えていると思うか

全体	そう思う	そう思わない	一概に言え	無回答
43	4	12	25	2
	9.3	27.9	58.1	4.7

(10) 地域社会が生活保護を受けている方々を「注目している」「監視している」と感じることはあるか

全体	ほとんどない	時々ある	よくある	無回答
43	15	22	5	1
	34.9	51.2	11.6	2.3

(11) 地域住民の多くが生活保護を受けている方々の福祉を、もっと充実させるときと考えるとどうか

全体	43	17	24	0
	4.7	39.5	55.8	0.0

IV 生活保護を受けている母子世帯に関する相談活動などについて

(1) 母子世帯(生活保護母子世帯を含む)をどのくらいの割合で訪問するか

全体	43	12	1	2	19	7
	27.9	2.3	2.3	4.7	44.2	16.3

(2) 訪問したとき、母親自身のことと相談を受けるか

全体	43	0	4	27	12
	0.0	9.3	62.8	27.9	

(3) 最も多い相談内容

全体	43	8	2	0	2	1	3	1	1	0	28
	18.6	4.7	4.7	0.0	4.7	2.3	7.0	2.3	2.3	0.0	65.1

(4) 民生委員の方から話題にすることが最も多いこと

全体	43	8	4	1	2	4	2	0	2	1	23
	18.6	9.3	9.3	2.3	4.7	9.3	4.7	0.0	4.7	2.3	53.5

(5) 担当地区の生活保護世帯の生活水準は、近隣の方の生活水準と比べてどのように感じるか

全体	近隣に比べて低い世帯が多い	近隣と同程度の世帯が多い	近隣に比べて高い世帯が多い	一概に判断できない	無回答
43	2 4.7	4 9.3	2 4.7	17 39.5	18 41.9

(6) 生活保護を受けている母子世帯とそうでない母子世帯に対する、地域社会の見方は変わらと思うか

全体	かわらと思う	かわらないと思う	どちらともいえない	無回答
43	5 11.6	11 25.6	14 32.6	13 30.2

(7) それほどのように変わらと思うか

全体	生活保護を受けている世帯の方が厳しい見方をされる	生活保護を受けている世帯のほうが見方をされる	無回答
43	9 20.9	1 2.3	33 76.7

V 生活保護を受けている母子世帯への支援のあり方について

(1) 生活保護母子世帯への支援で、最も留意されていること

全体	母親の就業支援	母親の子育てに対する支援	母親の社会参加への支援	子どもの就業支援	子どもの就学支援	その他	無回答
43	12 27.9	7 16.3	4 9.3	1 2.3	3 7.0	1 2.3	16 37.2

(2) 母親の就労に関して相談を受けることがあるか

全体	よくある	時々ある	ほとんどない	無回答
43	0	7	20	16
	0.0	16.3	46.5	37.2

(3) それほどのような相談か

全体	求職活動	仕事の内容	給料や労働時間	職場の人間関係など	その他	無回答
43	1	0	4	0	2	36
	2.3	0.0	9.3	0.0	4.7	83.7

(4) 母親が継続的に就労できるように、関係機関を含めて支援するうえで大切であると思われること

全体	継続して働ける職場開拓や紹介	母親が安心して働けるための保育や学童保育の活用	職場に適応できるような資格取得や技能訓練の充実	仕事を継続できる体力の回復や健康	無回答
43	15	18	5	5	13
	34.9	41.9	11.6	11.6	30.2

(5) 母子世帯の母親にとって望ましい資格や技能は、どのようなものと考えるか

全体	理美容師関連	指圧マッサージ関連	和洋裁関連	調理師などの食品関連	福祉・介護職関連	パソコン・経理関連	商品知識などを活用した販売関連	語学力を活用した業務関連	重機運転などオペレーター関連	その他	無回答
43	5	0	3	11	18	6	4	1	0	2	14
	11.6	0.0	7.0	25.6	41.9	14.0	9.3	2.3	0.0	4.7	32.6

(6) 資格や技能を取得するために、何を整備する必要があると考えるか

全体	資格や技能習得のための資金の充実に実	資格・技能習得期間中の生活費の保障	修得期間中の育児などの支援	その他	無回答
43	6	13	9	0	17
	14.0	30.2	20.9	0.0	39.5



VI 民生委員児童委員の役割などについて  
 (1) 民生委員児童委員として、支援を必要としている人々の自立支援活動を行うにあたって、最も大切にしていること

全体	支援を必要としている人の気持ちの尊重	支援を必要としている人への心のケア	支援を必要としている地域住民の理解や協力	支援を必要としている地域住民の理	その他	無回答
43	16 37.2	8 18.6	18 41.9	0 0.0	1 2.3	

(2) 民生委員児童委員の役割の専門性に対して、将来的な表現も含めてどのような報われ方を望むか

全体	役割にふさわしい報酬	役割にふさわしい地位や名誉	役割にふさわしい資格	他の専門職からの承認や尊敬	地域住民からの承認や尊敬	その他	無回答
43	2 4.7	0 0.0	7 16.3	0 0.0	19 44.2	8 18.6	7 16.3

## 執筆者紹介

杉村 宏	法政大学現代福祉学部教授
岡部 卓	都立大学人文学部教授
六波羅 詩朗	国際医療福祉大学医療福祉学部教授
吉浦 輪	法政大学現代福祉学部助教授
大岡 華子	法政大学大学院人間社会研究科福祉社会専攻修士課程2年次生
土居 まゆみ	法政大学大学院人間社会研究科福祉社会専攻修士課程2年次生
松本 一郎	都立大学大学院社会科学部研究科社会福祉学専攻博士課程1年次生
野村 智	法政大学大学院人間社会研究科福祉社会専攻修士課程1年次生
野田 博也	日本社会事業大学研究生

### 編集後期

\* 今年度は、下町区と山麓町（いずれも仮名）のご協力をいただき、生活保護を受給している母子世帯の聞き取り調査、民生委員・児童委員アンケート調査、福祉事務所生活保護ケースワーカーアンケート調査と、3つの調査を実施することができた。

関係機関各位、ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

\* しかしながらこの報告書では、下町区の調査結果の第1報が中心となり、山麓町の調査結果については、民生委員・児童委員の集計表のみを掲載するに留まっている。下町区の調査結果の集計分析と山麓町の調査実施が重なった結果、今年度はその資料を整理した上で分析するところまで終えることができなかった。

本研究は3年次計画で実施しており、さいわい厚生労働省から来年度の研究継続の内諾をいただいたので、来年度は補足調査と結果の分析に全力投球をおこない、全体のまとめの中で、山麓町の調査結果はあらためて公表する予定でありご了解いただきたい。

\* 今回の調査では、個人のプライバシーに関わる内容についてもお話をうかがっているために、公表に際しては個人を特定されることの内容に最新の注意を払ってまとめましたが、この結果に基づいて最終報告をどのようなまとめかにするのかについても、関係各位にご意見をうかがい進めていきたいと考えている。(杉)

2004年3月30日発行 編集・発行者 東京都町田市相原町4342 法政大学現代福祉学部  
代表者 杉村 宏 印刷所 (株)相模プリント